

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Harmonyオー！（放デイ）		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 16日 ～ 2025年 1月 15日		
○保護者評価有効回答数	(ご利用家庭数)	15	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日 ～ 2025年 1月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		
○ 分析結果			
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様についての保護者様との情報伝達・共有	面談に限らず、ご家庭の困りや事業所で様子についてお時間をいただいております。お話をすることをこまめに設けている。	引き続き、継続してこまめな情報共有を心掛けてまいります。
2	お子様の特性等に合わせた支援の提供	職員が自発的にご利用者様の支援について話し合う機会を設け、よりお子様への理解を深めようとしている。	引き続き、ご利用者様の支援について話し合いの機会を設け、日々の支援に繋げてまいります。
3			
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や保護者様同士が交流できる機会を設けることができていない点	ご利用者様の特性を考慮し、自事業所内の人員で安全な運営を行うことのみ目を向けてしまった為。	より個別なグループに分けて外部に出る機会を設けるなど工夫してまいります。 また法人内の別事業所との交流の機会を増やし、外部の人との関わりに広がっていきます。
2	ホームページ等での情報発信（ブログ、行事予定等）を行っていることが保護者様に認知されていない点	契約時にホームページについてのお知らせや説明を行うのみで継続したお声かけができていない為	契約説明時にホームページについて丁寧に確認を行うとともに、日々の申し送りの際にブログ更新についてお伝えしながらお子様の活動の様子について確認できる機会を増やしてまいります。
3			

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		Harmonyオー！（放デイ）				公表日 2025年 1月 31日		
		ご利用家庭数 15 2025年1月31日				回収数 10		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	10	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1	0	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環 境になっていると思いますか。また、事業所の設備 等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報 伝達等への配慮が適切になされていると思います か。	9	0	0	1	・いつも玄関席でのお話なので生活 空間をまじまじと見た事がないため わかりません。（3,4に対して）	・視覚支援等を取り入れ、ご利用者様が 過ごしやすい環境づくりに努めております。 今後保護者様が施設内を確認できる機 会を検討してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっていると思いますか。また、こども達の活動に合 わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	1		
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いま すか。	9	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所 の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズ や課題が客観的に分析された上で、放課後等デ イサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	10	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイ サービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、 「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に 必要な項目が適切に設定され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われ ていると思いますか。	10	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工 夫されていると思いますか。	9	1	0	0	・平日の活動は固定化されていると 思います。	・曜日ごとに大きな活動枠の設定をさせて 頂いておりますが、活動内容についてはご 利用者様のご様子や傾向等に合わせて 活動を設定させていただいております。活 動内容について申し送り等でわかりやすく お伝えできるよう努力してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の 他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	0	4		・地域イベントや学校行事への参加等 を通して交流の機会を次年度に向けて検討 してまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログ ラム、利用者負担等について丁寧な説明がありま したか。	10	0	0	0		

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	2	4		・ご家族様のニーズに沿った形で研修会のご案内や情報提供のお声がけを行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	10	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	2	6	4	・そのような機会にはまだ参加した事はありません。 ※複数のチェックあり	・父母会等の機会を設けることができていない為、保護者間での交流・兄弟児支援を盛り込んだ活動等を設定してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4	1	0	5		・Harmonyホームページにて活動ブログ・行事予定を随時更新しております。今回の評価表の結果についてもホームページに掲載しておりますのでご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	0	4		・各種マニュアルについては玄関先に掲示・ファイル配置を行っております。お迎えの際などにご覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	2		・避難訓練実施の様子については玄関先にて掲示をおこなっております。次回避難訓練からはお手紙にてご様子をお伝えしてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1	0	1		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9	1	0	0	・とても満足しています！（27.28.29に対して）	・ありがとうございます。引き続きお子様が安心して通えるよう支援・活動の提供をおこなってまいります。

満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	2	0	0	・毎週楽しく通わせて頂いています。本当にありがとうございます (27.28.29に対して)	・ありがとうございます。お子様が楽しみに通えるよう、引き続き職員間で企画等を検討し、より良い活動の提供に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	1	0	0	・可能であれば外での平日時活動や長期休み時遠出（例えば無料の遊び場等）を増やしてほしい	・貴重なご意見ありがとうございます。お子様の成長・発達に配慮しながら外出活動等を職員間で検討し、支援・活動の提供できるよう努力してまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	Harmonyオー！（放デイ）				公表日	2025年 1月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1		・場面によっては部屋の有効活用が難しいことがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2		・今の段階ではスロープ等の設置がないが必要に応じて対応していくべきだと思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1		・お子様によっては部屋の使い方がわからず危険な場面もある為、環境設備・職員配置、適切な使用方法のお伝え等を工夫していく必要がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		・部屋数が足りない。色んな設備に不具合が発生しているのでその都度確認を行い、必要に応じて修理が必要に感じる。（特に扉、ドアのカギ）	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		・お子様によっては使用して良い場面とそうでない場面の差がわかりづらい方もいるので環境整備が必要だと思う。職員間で認識合わせを行っていく必要がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		・記録が一部職員に集中してしまっているのを何とかしたいと思う。自ら声をかけて積極的に記録に参加したい。
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0			
関係機関や保護者と	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		・一部の学校との情報共有が難しいと感じる場面があり、学校側と放デイがもっと友好的な関係になれるかが今後の課題と感じる。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		・今の所そういった移行される年齢の子はいないが、今後そういう場面が発生した時は対応可能である。

の 連 携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6	1		
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	6		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		

非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自事業所だけでなく、他事業所とも共有するようになってきた。</li> <li>・ヒヤリハットに限らず、日常生活の中で不安な事や疑問に思うことは定期的に期日を決めて話し合う時間を作っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共有の場面は再発防止を考えていく場面と思っているが、どうしても空気が重くなってしまっているので、一人一人が話し方や言葉遣い、声のトーンを気をつけて前向きに話し合っていきたいと思う。</li> </ul>
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		